



「出会い・ふれあい・学び愛」～日土小学校をしょうかいしよう～5年生

昨年度、森や林の種類や役割、自分たちとの関わりを学習した5年生。今年度は、木材を利用して作られている我が自慢の日土小学校の校舎について学習します。校舎の特徴や工夫については、知っているつもりでしたが、講師の方の案内で、新たな発見、再発見したことがたくさんありました。これから、総合的な学習の時間において、「日土小学校のすばらしさや建築家の思い、様々な工夫を知り、発信する」ことをねらいにして学習を進めていきます。

第1回 5年生校舎学習会

講師 真田井良子さん（建築士）

菊池 勝徳さん（八幡浜みてみんな会 会長）

今回の学習会のキーワードは、「光・風・軽やかさ」。

まず、校舎のいたるところに、光を取り入れる工夫がありました。各教室は、喜木川側からも、運動場側からも光が入ってくるように窓が作ってあります。クラスター型教室配置や両面採光が施されていました。また、窓を開ければ、自然の心地よい風が校舎中を駆け巡ります。

教室や廊下にある作り付けのロッカーや棚、靴箱などは、どれも床から持ち上げて作り付けてあることで軽やかさを感じさせるのだと知りました。



菊池勝徳さんは、日土小学校の卒業生です。

- 教室の照明設備が十分でなかったときに、光がいっぱい入る教室で勉強することができたことがとてもうれしかった。
- 当時は、ピンクや水色の壁の建物はなかった。だから、日土小学校の壁の色はめずらしかった。
- 窓にすきま風の入らない工夫がしてあり、冬の寒い時期はとてもありがたかった。
- どうすれば楽しいか、住みやすいか、子どものことを考えて、いろいろな工夫をしてくれていることがわかり、うれしいなと思った。



- ローカーや棚を支える木は先の方が細くなっていて、これも軽やかさを演出している。
- 木と鉄の組み合わせもたくさん見られる。組み合わせ方やデザインがとても軽やか。



子どもたちのための校舎であることを改めて感じました。そして、何より菊池さん、真田井さんの「日土小学校愛」に心打たれました。まだまだ、校舎の秘密はありそうです。次の学習が楽しみです。